

「第2回プロから学ぶ勉強会」および「第5回女技カフェ」 開催報告

日時：2023年3月28日（火） 13:00~16:00

場所：オンライン（zoom）

参加人数：41名、大学等：21機関

「第2回プロから学ぶ勉強会」（以下、勉強会）と「第5回女技カフェ」（以下、女技カフェ）をオンラインで開催しました。今回のテーマは、「ブラッシュアップあなたらしさを磨くために」とし、第1回の勉強会で学んだことや、カフェで情報共有したことを再考し、より良いものにしようと企画しました。開会のご挨拶を島岡まな先生（大阪大学ダイバーシティインクルージョンセンター長）から頂戴し、全国展開へとネットワーク連携を広げる私達阪大女性技術職員に激励のお言葉をかけてくださいました。勉強会では、第1回からひきつづきレジリエンスについて学びました。講師は、日本ポジティブ教育協会、お茶の水大学講師の岐部智恵子氏お招きして、実状にあった具体例をもとに学んでいきました。具体的には、問題の発生箇所、条件、対応の検討そして検証を冷静に行うこと。また、4つのマッスル活用（I can, I like, I have, I am）し、自己流取説を作り、自分の強みを知ることで、ストレスや困難とうまく付き合う方法を学びました

「第5回女技カフェ」では、4つのテーマに分かれトークを行いました。「心の回復力（レジリエンス）&コミュニケーション」では、勉強会の感想から、各自のレジリエンス手法や経験談を話し合いました。そして、傾聴の重要性やコミュニケーションの必要性を改めて実感しました。「男性技術職員との意見交換」では、このカフェが女性技術職員の場だけではないことを知ってもらいたく、男性技術職員ネットワークの紹介や、性別による違いなどの情報共有を行いました。しかし、最終的には技術職員の仕事をする上での性別は関係ないという認識となりました。「時短、育児休暇制度」では、各大学の時短・育児制度について情報共有や、実際制度を利用された方のメリットデメリットなどが紹介されました。また男性技術職員にスピーカに入っただき、パートナーとしての意見もいただきました。「アフターコロナ」では、コロナ以外でも災害はいつでも発生することを想定し、常に危機管理をもつ意識を再認識しました、またコロナ前、コロナ禍、コロナ後の自分の内面やひととの付き合い、環境の適応をマトリックス化し、自己分析を行いました。

本カフェも第5回を迎え、これまで様々な情報共有を行ってきました。今後はこの情報をもとに技術職員の職場環境がより良くなるようアウトプットしていく時期になってきていると思います。今後もカフェで情報共有しますが、次のステップへ踏み出せるよう阪大女

性技術職員メンバーで取り組んでいきたいと思います。今回、スピーカ、ファシリテータ、書記を担当してくださったのは、以下の方々です。年度末のお忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

「心の回復力（レジリエンス）&コミュニケーション」

スピーカ：吉田秀樹 氏（神戸大学）、大西明子 氏（名古屋工業大学）

ファシリテータ：森本綾子 氏（大阪大学）、書記：堀江圭都 氏（大阪大学）

「男性技術職員との意見交換」

スピーカ：西川嘉子 氏（奈良先端科学技術大学院大学）、廣瀬知弘 氏（北海道大学）

ファシリテータ：平野裕一 氏（京都大学）、書記：三宅里香 氏（大阪大学）

「時短、育児休暇制度」

スピーカ：六本木誠 氏（宇都宮大学）、黒住貴代佳 氏（大阪大学）

ファシリテータ：勝又まさ代 氏（山梨大学）、書記：平井智美 氏（大阪大学）

「アフターコロナ」

スピーカ：一條肇 氏（東北大学）、江口奈緒 氏（大阪大学）

ファシリテータ：原楨稔幸（大分大学）、書記：吉岡潤子 氏（大阪大学）



イベントの様子